

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	所管課	市民・子ども局子ども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 25,926人 ②年間延べ利用団体数 696団体																																					
収支実績	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 収入</td> <td style="width: 45%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td> 指定管理料</td> <td style="text-align: right;">24,000,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他収入</td> <td style="text-align: right;">4,477,056</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right;">28,477,056</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 人件費・賃金</td> <td style="text-align: right;">16,846,875</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 光熱水費</td> <td style="text-align: right;">1,467,549</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 委託費</td> <td style="text-align: right;">2,371,152</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 消耗品費</td> <td style="text-align: right;">4,435,854</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他経費</td> <td style="text-align: right;">3,721,589</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right;">28,843,019</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td></td> <td style="text-align: right; color: red;">-365,963</td> </tr> </table>		1 収入			指定管理料	24,000,000		その他収入	4,477,056		合 計	28,477,056		2 支出			人件費・賃金	16,846,875		光熱水費	1,467,549		委託費	2,371,152		消耗品費	4,435,854		その他経費	3,721,589		合 計	28,843,019		3 差引		-365,963
1 収入																																						
指定管理料	24,000,000																																					
その他収入	4,477,056																																					
合 計	28,477,056																																					
2 支出																																						
人件費・賃金	16,846,875																																					
光熱水費	1,467,549																																					
委託費	2,371,152																																					
消耗品費	4,435,854																																					
その他経費	3,721,589																																					
合 計	28,843,019																																					
3 差引		-365,963																																				
サービス向上の取組	利用団体等からの指導依頼を受けてプログラムを提供するなど、専門性が十分に発揮され、野外活動に関する技術や情報が集約されるセンターとして機能の充実が図られていた。																																					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	5	5
(評価の理由) 今年度についても、高い利用者数(平成17年度比171%)及び利用団体数(同比209%)を記録し、充実した事業展開の成果が表れていた。 【参考】 平成17年度利用者数:15,136人、同利用団体数333団体					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか				
(評価の理由) 事業展開の充実により、利用者が増加したことにより、事業参加費等による収入を確保するとともに、必要な備品を手作りで作成するなど経費削減を図った。また、収支で指定管理料比約2%の赤字を計上したが、東日本大震災の影響による自主事業収入の減と、指定管理者が自主的に施設修繕(当初予算比222%)を実施したことによるものであるため、適正な収支と認められるものであった。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	3	6
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) ウェブログの更新やタウン誌などの各種の媒体を活用に加え、さらに、ホームページ等へのアクセスを増やすため、QRコードを作成し、カードにして配布するなど、広報の充実に努めていた。子育て支援センター百合丘と連携した親子向けプログラムを実施するなど、行政機関との連携も図られていた。					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由) 必要な資格者が採用され、計画どおりの人員配置が行われた。また、予定どおりの研修が実施され、個人情報の取扱いについても適切な運用がなされていた。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	5	5
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害時の対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 各種マニュアルの整備に加え、日常の保守点検や法定に定められた訓練等が確実に実施された。さらに、修繕の必要な箇所を確実に把握し、効率的・効果的な修繕に努め、多くの修繕を実施した。					

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 90点以上 B: 80点以上90点未満 C: 60点以上80点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

ホームページやタウン誌等の媒体の活用に加え、新たな広報媒体を開拓するなど、広報の充実に努め、また、既存の事業に工夫を加え、乳幼児親子向け事業等の新規展開を図っていた。

今年度も、引き続き多くの利用者数及び利用団体数が記録された。

野外活動に係る専門性を有する職員が、さらにその資質の向上に努める研修を随時実施している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、専門性を十分に発揮した事業展開、各種広報媒体の更なる充実及び職員の資質向上に努めること。また、高い利用者数及び利用団体数を維持できるよう努めること。